

情報処理

Vol. 30, No. 4 (1989年4月)

目 次

——大特集：「新しいプログラミング環境」——

大特集「新しいプログラミング環境」の編集にあたって	大 場 充	313
1. プログラミング言語と環境		
1.1 Lisp のプログラミング環境	上 田 良 寛	314
1.2 Prolog のプログラミング環境	田村 直之・浅川 康夫	326
1.3 オブジェクト指向言語のプログラミング環境 —Smalltalk-80 における環境を例に—	横 手 靖 彦	334
2. プログラミング・パラダイムと環境		
2.1 マルチパラダイム支援環境	竹 内 郁 雄	347
2.2 視覚的プログラミング環境	西川 博昭・寺田 浩詔	354
2.3 日本語プログラミング環境	高 橋 延 匡	363
3. プログラム設計環境のツール		
3.1 形式的仕様記述言語とその支援ツール	深 澤 良 彰	373
3.2 分散アルゴリズム設計支援ツール	都 倉 信 樹	380
3.3 プロトタイピング支援ツール	伊藤 潔・本位田真一	387
4. 新しい技術の応用		
4.1 新しいプログラマ・インターフェースの利用	久 野 靖	396
4.2 ハイパーテキストとそのプログラミング環境への応用	高 田 広 章	406
4.3 AI 技術を応用したプログラミング環境	毛 利 友 治	414
5. 事 例		
5.1 大規模プログラミングのための環境	細 谷 優 一・伊 東 洋 一	422
5.2 多重言語を指向する統合プログラミングシステムの開発経験	佐 藤 豊	430
5.3 米国におけるプログラミング環境の開発	斎 藤 信 男	439
6. 究極のプログラミング環境	有 澤 誠	445
論文誌梗概		449
欧文誌アブストラクト		454
会議案内		456
雑報		458
著者紹介		460
研究会報告		463
情報技術標準化のページ		483
本会記事		484